



今年の6月に続き、5年生に向けた出前講座を実施しました。今回は、暴れ川として有名な常願寺川の特徴や土砂災害の種類等々について学びましたが、今回はより理解を深めるため土砂災害に関する実験を行い、児童達は実際に土砂災害・砂防施設のミニ模型や実験を体験しました。今年発生した静岡県熱海市での災害報道の影響で土砂災害のニュースを見る機会も多かったため、児童達も興味を持って積極的に取り組んでいました。

開催日：令和3年10月28日(木)
場所：富山市立新庄北小学校
参加者：5年生 (84名)
教員 (3名)



新庄北小学校で出前講座！



砂防堰堤模型の組立体験

砂防堰堤ってこうやって作るんだ！

このパーツはどこだろう？



屋外での実験



土石流模型実験

土石流で建物が流されちゃった！

砂防堰堤があると安心だね！



地すべり模型実験

地すべりが起こると地面がまるごと移動しちゃう！



がけ崩れ模型実験

うわ～！がけが崩れた！



パネル展示で更に詳しく！



体験学習でわかりやすい！

～質問コーナー～

Q: 富山県の災害対策はどのくらい進んでいますか？

A: 砂防施設などの対策は県内各地で進められています。また、未実施の箇所についても警戒区域を設定することで、住民を災害からまもる努力をしています。



質問ありがとう！

Q: この仕事のやりがいは何ですか？

A: 間接的にですが、皆さんの暮らしの安全を守っているということがやりがいの一つです。また、本日のような授業をきっかけに砂防に興味を持っていただいで、将来一緒に働けたら嬉しいです！



第1回目の出前講座は6月23日に開催しました。Vol.10で紹介していますので是非ご覧ください。

* 今回の出前講座は、「斜面防災対策技術協会富山支部」が主催となり、当事務所が支援したものです *